

collected mountain

瓜生 祐子 展 Uryu Yuko Exhibition

瓜生祐子(うりゅう・ゆうこ/1983年〜)は2005年に成安造形大学洋画クラスを卒業後、おもに関西を拠点に活動を続けるとともに、2012年には「損保ジャパン美術財団選抜奨励展」(損保ジャパン東郷青児美術館・東京)に、2013年には「京都美術ビエンナーレ」(京都文化博物館)や「VOCA展」(上野の森美術館・東京)に出品するなど、徐々にその活躍の場を拡げています。

その作品はおもに「食べ物」と「風景」が併存したような絵画と呼べるもので、例えば瓜生は日々おこなわれる食事にあって、スプーンやフォークによって「食べ進める」という当たり前の行為の中で、皿の上に「野原や山、海や谷のある情景」を見だし、そこにカタチを捉えます。つまり、瓜生の絵画制作は自身が実際に「見た(見えた)」情景を起点としてはじまり、その雄大な大地を鳥瞰するかのような視点は、瓜生がお皿を覗き見た時と同じものであるといえます。また、それは望遠鏡や顕微鏡で異なる世界を覗くような不思議な視覚感覚を鑑賞者にもたらしめます。

瓜生の絵画制作は、まず木製パネルにアクリル絵具によって食べ物と風景の綯い交ぜとなった「瓜生の見たありのままの景色」が鮮やかな色面で描かれます。そして、その画面は薄い綿布で覆われ、色や線の曖昧となった画面の上に、今度は鉛筆によって色面の輪郭や微かなディテールが、まるで山の稜線をなぞるように自由な線として加えられていきます。このことにより本来の色彩や絵具の物質感は曖昧となり、淡い色彩と柔らかな線による画面が表れます。この二重構造ともいえる独自の手法は、目に見える(見えた)であろう「ありのままの情景」と、自由な想像による「イメージの世界」とを変換させるもので、これにより鑑賞者は、「食べ物」といった身近で小さな世界と、「風景」といった大きなスケールの世界を軽快に行き来するような視覚体験をもたらします。

Gallery PARCでは2年ぶりとなる本展「collected mountain」は、瓜生自身が経験した富士山からの眺望と、食べ崩されたカレーライスから発想を得たVOCA展出品作品である **d.《curry and rice》**や、「京都美術ビエンナーレ2013」にて毎日新聞社賞を受賞した作品 **e.《shokado bento》**など、様々な「食べ物」あるいは「山々の風景」を見る事ができます。

また、作品 **f.《untitled》**は、2006年に瓜生が何気ない遊び心から、乱暴に破り捨てられていた封筒の様子に山を見つけ、そこに少しか鉛筆で加筆したもので、現在まで続く一連のシリーズのきっかけとなったものです。会場にはこの初期体験をもとに、封筒やテープの芯によって本展のために構成されたインスタレーション **g.《collected mountain》**を展示しています。ここには瓜生の見つめる眼差しが、ごく小さな日常世界から始まることを物語りながら、不思議と私たちの記憶にある山の風景へとつながっていることに気づかされます。

取るに足らない小さな出来事が、大きな世界の糸口となるように、作品を通して大きな「山」の存在を小さな日常に見ることができるのかもしれない。

瓜生祐子 URYU Yuko

collected mountain

わたしの育った町は、いわゆる新興住宅地でした。

身近にある自然といえば、整備された公園と街路樹、母が育てている花壇の花や木。

山を切り開いてできたその町で、山の存在を感じることはほとんどありませんでした。

しかし、あるとき、高台にある小学校のグラウンドに立って、周りを見回したことがあります。

ぐるりと見渡した時、ゆるやかな稜線がわたしを囲んでいることを見つけました。

山に囲まれている自分を確認したとき、手の届かないと思っていた大きな世界が、自分と同じ世界の中に存在していると気がついたのです。

お皿の中に「山」を見いだす時、封を破った封筒の形から「山」の稜線を思い浮べる時、その出来事と同じような感覚へと私を導きます。

大きな山の存在を、自分の手の中に集めることで、今ここにあることが、限らない世界の一部であることを確かめ、その眼差しをイメージの世界の中へ閉じ込めたいのです。

【主な個展】

- 2009 個展 (neutron kyoto)
- 2010 個展 (neutron tokyo)
- 2011 個展 (neutron kyoto)
- plate journey (Gallery PARC)

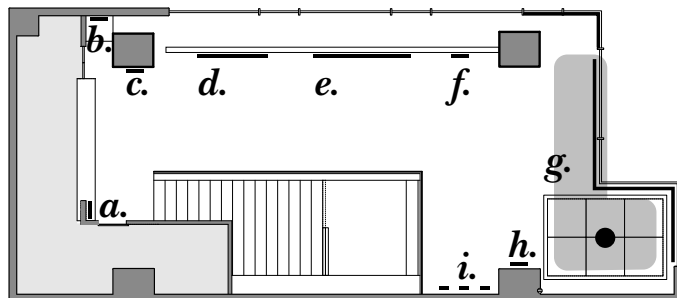
【主なグループ展】

- 2008 Art Court Frontier 2008 #6 (ARTCOURT Gallery/大阪)
- 2010 呼吸する視点(かわらミュージアム/滋賀)
- 2011 sweet memory—おとぎ話の王子でも(京都芸術センター)
- 2012 第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展(損保ジャパン東郷青児美術館/東京)
- 2013 京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ(京都文化博物館)《毎日新聞社賞》
 - VOCA展 2013 現代美術の展望—新しい平面の作家たち(上野の森美術館/東京)
 - SEIAN ARTS ATTENTION VOL.4「RELATIONS | つながる出来事がつくること」『In the dish』(成安造形大学/滋賀)

【ワークショップ】

- 2011 おかしな風景を描こう! (京都市美術館)

出品作品リスト



a. untitled

2013 10.0×30.0cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル

b. gohan

2013 15.0×15.0cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル

c. curry and rice

2012 21.0×29.7cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル

d. curry and rice

2012 97.0×194.0cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル

e. shokado bento

2012 162×162cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル

f. untitled

2006 11.0×16.5cm 封筒、鉛筆

g. collected mountain

2013 インスタレーション

h. kamogawa sanpo

2012 15.0×37.0cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル

i. pudding a la mode

2012 18.5×18.5cm アクリル、鉛筆、綿布、木製パネル